

INTRODUCE

シスコシステムズ

CISCO SYSTEMS

いつでも「どらんどら」でも「誰でも」誰もが同じ環境で
仕事ができるビジネス空間



▲エントランス部分。同社の製品のの一部も展示されている。

オフィスに定席を作らない、“フリーアドレス制”を採用する会社が少しずつ増えている。そんななか、赤坂に本社を持つシスコシステムズ(株)は、単なるフリーアドレス制導入にとどまらず、人や場所、そして時間にさえとらわれないビジネス空間を作り上げた。そのキーポイントは、IT技術の駆使と、より快適で効率的なオフィスを追求する姿勢にある。



▲一般の執務空間と全く同じ条件で、ノートパソコンなども利用できる会議室。

IT環境の整備と多種多様な 執務スペースが、コミュニケーションを 活発にする



▲クワイエットルーム。オフィスとは遮断された空間になっていて、周囲から話し掛けられずに集中して書類をまとめたり、電話をかけたりすることができる。



▲ワークステーション(複数人用)。机、椅子、「IP PHONE」などで構成され、数人でチームを作って仕事をするときに適している。

情報を共有できる環境を整備

シスコシステムズ株は、インターネット向けネットワーク機器ベンダーの最大手企業。そのセールス拠点である赤坂オフィスの特徴は、人事や経理などのバックオフィス機能を除いたすべての席に、フリーアドレス制を導入したことだ。同社は規模拡大に伴い多くの人材を採用したが、それに見合う広いオフィススペースを確保するのは困難であった。しかも社員の多くがセールススタッフで、「セールスはお客様が第一、そのニーズをキャッチするのはあくまで営業先」というコンセプトのもと、大半は自席にいない。このような状況でのフリーアドレス制導入は、非常に有効な施策であった。

また、同社はフリーアドレス制導入に際して、単に机を並べるだけではなく、社員が仕事の種類や目的に適した場所を選択できるよう、多種多様な執務スペースを用意した。それによって業務の効率アップや、コミュニケーションの活性化を図っているのだ。

インターネットを活用することで情報を全社で共有する環境を構築することが、同社のフリーアドレス制の基本であり、そのサポートに用いられているのは自社製品だ。オフィスのあらゆる場所に無線LANを設置したことで、従来は回線敷設が困難だった場所でも、同じ情報が共有できるようになっている。机の上の電話はすべて「IP PHONE」。社員は個人の電話番号を所有しており、社内IPネットワークのどこに接続しても同じ番号で電話や留守番電話が利用できる。このように、ひとつのIPネットワークに音声(電話)、データ、そして映像も統合した効率的な社内ネットワークインフラを構築。また、社外や自宅からのセキュリティが完備されたネットワークアクセスも準備したため、組織の生産性向上に大きく寄与している。



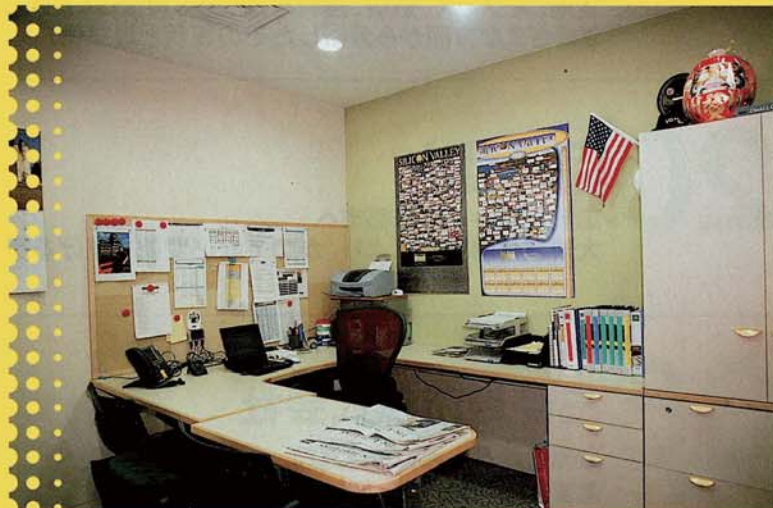
▲ワークステーション(1人用)。机などの構成やサイズは複数人用と同一だが、適度なプライバシーが確保できるので、単独での業務に適している。

常に新しいアイデアを試行して進歩

このテクノロジーをベースとしたフレキシビリティ溢れるオフィスは、赤坂への移転時に社内プロジェクトチームが、社員の声を聞きながら作り上げた。役職にかかわらず机やキャビネットを同一サイズにしたり、気軽に使えるミーティングスペースを数多く作るという工夫もその一部である。そのため、移転後に「こんなオフィスとは思わなかった…」という社員の声は皆無だった。現在も「WPR」という部署が、常に社員の意見を吟味しながら、オフィスの改善を続けている。

しかし、簡単には解決されない問題もある。その最たるものがフリーアドレス制とは言いながら、個人の席が自然と定まってきてしまうという現実で、ともすると帰宅時に机の上を片付けないという現象に結びついてしまう。この問題については、社員のしっかりとしたモラルを確立することによって、解決されるべきなのだろう。

IT環境の整備とフリーアドレス制の導入。この二つを推進することで、コストを抑え、効率的に稼動するオフィスを完成させたシスコシステムズ株。同社が提案した新たなオフィスのあり方、作り方は、まさに時代を先取りしたものと言える。また、掲げたコンセプトを社内に浸透させ、より良い執務環境を目指して日々改善を積み重ね進歩しているという意味でも、高く評価されるべきオフィスと言えよう。



◀ 本部長以上に与えられる個室。原則としてドアはオープンのまま。そのため、報告や相談をする場合にも、上司の様子をうかがうことなく入室できる。



▲ オフィスの中心に位置するコラボレーションルーム。ちょっとしたミーティングをしたり、リラクゼーションスペースとして利用するなど、使い方は自由。



▶ タッチダウン。「IP PHONE」とノートパソコンを置くスペースが用意されており、出張してきた同社の社員が、普段と変わらない執務環境で仕事ができるようになっている。